

環境取り組みプラン

1995年3月より環境取り組みプランを策定し、2006年度より第4次環境取り組みプランとして2010年度末までに達成すべき目標を掲げ活動を進めています。

第4次環境取り組みプラン（2006年度～2010年度）

行動指針	取り組み項目	主な取り組み内容
(1) 総合的な環境マネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 全社統合システムの実施運用 1) 環境マネジメントシステムの実施運用 2) 事前検討制度の充実、強化 3) 環境パフォーマンスの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 重大不適合“0”、異常苦情“0”をめざす ・ 目的・目標、環境保全推進計画の実施及び目標達成 ・ 教育、訓練の充実による汚染の未然防止 ・ 事前検討制度を利用した遵法の確実化 ・ 法令違反、苦情、発生源異常“0”
(2) 地球温暖化防止対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ CO₂排出を極力抑えた事業活動 1) T P Sと連動したCO₂低減 2) 省エネルギー活動 3) 少エネルギー化の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ CO₂総排出量の低減 ・ CO₂総排出量を2010年度末までに成行き比16%減 ・ 2010年度排出量目標 36,953t-CO₂/年 ・ 2010年度原単位目標 155.9t-CO₂/億円 ・ 工場、各部署の個別テーマ選定による活動展開 ・ 事前検討と連携した設備導入時からの少エネルギー活動の展開
(3) 資源有効利用の促進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 知恵と工夫で廃棄物低減、省資源の推進 1) ゼロエミッションの継続 2) 発生源対策、廃棄物レスの推進 3) 製品設計、設備設計段階からの廃棄物発生抑制 4) T P Sと連動した全廃棄物の低減 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 廃棄物総排出量の低減 ・ 廃棄物排出量を2010年度末までに2003年度比5%減 ・ 埋立廃棄物ゼロエミッションの継続 ・ 焼却廃棄物の低減 ・ 社外リサイクル廃棄物の低減 ・ 有価物（スクラップ）の低減
(4) 環境負荷物質の使用量低減（PRTR法対象）	<ul style="list-style-type: none"> ◆ PRTR対象物質の使用量低減と適正管理 1) 事前検討によるPRTR対象物質の低減 2) 環境負荷物質を使用しない製品への切り替え 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ PRTR対象物質使用量 ・ 2010年度末までに2.5tの低減
(5) 物流の環境負荷低減	<ul style="list-style-type: none"> ◆ CO₂排出量の低減、梱包資材使用量の低減に向けた物流合理化の推進 1) 車輻CO₂の低減 2) 梱包資材の低減 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 車輻CO₂の低減 ・ CO₂排出量を2010年度末までに2005年度比 10%の低減 ◆ 梱包資材の低減 ・ 梱包資材を2010年度末までに2005年度比 10%の低減
(6) 仕入先の活動充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 大豊仕入先環境ガイドラインの設定と定着化 ◆ グリーン調達の推進（原材料・副資材・消耗品等のグリーン調達対象品の購入） 	
(7) 社会貢献活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の環境行事、緑化活動、ボランティア活動等への支援を積極的に推進 	
(8) 広報活動、情報開示の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 各工場での環境コミュニケーション活動の充実 ◆ 環境社会報告書の発行と情報開示 	
(9) 従業員への教育、啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 各種環境教育の実施と充実（新入社員、中途採用者、環境保全構成員、設計者、専門教育、内部監査員教育等） 	

環境教育

環境教育の充実

従業員の環境保全意識を向上させるため、教育・啓発活動を積極的に行っています。また、環境重要設備を持つ職場では緊急時に備えた訓練を計画的に実施しています。

■ 教育体系

対象者	主な教育内容
新入社員	環境問題の概要、社内での環境への取り組み
生産部門	環境重要設備の維持管理、緊急対応訓練、環境方針等（配属時）
事務・技術部門	環境に配慮した製品・設備設計、環境方針等（配属時）
環境保全組織構成員	環境管理マニュアル・規程類

■ 設計者教育

製品や設備の設計担当者に対し、環境に配慮した設計の考え方や社内規程について教育を行っています。2007年度は管理者を対象として行い57名が参加しました。

活動結果

今年度の活動結果について、第4次取り組みプランに沿って報告いたします。

2007年度の活動結果

行動指針	取り組み項目	活動結果（実績）
(1) 総合的な環境マネジメントの推進	◆全社統合システムの実施運用 1) 環境マネジメントシステムの実施運用 2) 事前検討制度の充実、強化 3) 環境パフォーマンスの向上	◆ISO14001審査での重大な不適合0件 ◆新規設備、副資材の事前検討件数186件 ◆大気、水質、騒音、振動の基準値オーバー0件
(2) 地球温暖化防止対策の推進	◆CO ₂ 排出を極力抑えた事業活動 1) T P Sと連動したCO ₂ 低減 2) 省エネルギー活動 3) 少エネルギー化の展開	◆CO ₂ 排出量 40,695t-CO ₂ /年 ◆CO ₂ 排出量原単位 161t-CO ₂ /億円 主な実施項目 ・各部での個別テーマ活動（不良低減） ・省エネ創意くふう提案活動 ・多量排出設備の対策（コンプレッサーの小型分散化、大型空調機の運転条件見直し、炉の熱源変更等）
(3) 資源有効利用の促進	◆知恵と工夫で廃棄物低減、省資源の推進 1) ゼロエミッションの継続 2) 発生源対策、廃棄物レスの推進 3) 製品設計、設備設計段階からの廃棄物発生の抑制 4) T P Sと連動した全廃棄物の低減	◆廃棄物総排出量 11,513t/年 主な実施項目 ・埋立廃棄物のリサイクル化（ゼロエミッション継続） ・各部での個別テーマ活動（不良低減）によるスクラップ発生量低減 ・製品・設備設計者への教育（57名）
(4) 環境負荷物質の使用量低減（PRTR法対象）	◆PRTR対象物質の使用量低減と適正管理 1) PRTR対象物質の使用量低減 2) 環境負荷物質を使用しない製品への切り替え	◆PRTR対象物質使用量78tの低減 主な実施項目 ・鉛フリー軸受材料：HB200の量産化 ・事前検討制度の運用と仕組みの定着化（教育） ・各工場小委員会活動（PRTR対象物質低減）
(5) 物流の環境負荷低減	◆CO ₂ 排出量の低減、梱包資材使用量の低減に向けた物流合理化の推進 1) 車輦CO ₂ の低減 2) 梱包資材の低減	◆CO ₂ 排出量 357.8t/年 主な実施項目 ・輸送ルートの特約による便数削減 ・パレットのリターナブル化
(6) 仕入先の活動充実	◆大豊仕入先環境ガイドラインの設定と定着化 ◆グリーン調達（原材料・副資材・消耗品等のグリーン調達対象品の購入）	主な実施項目 ・グリーン調達ワーキンググループの発足 ・グリーン調達ガイドライン作成
(7) 社会貢献活動の推進	◆地域の環境行事、緑化活動、ボランティア活動等への支援を積極的に推進	主な実施項目 ・ボランティア委員会を事務局として社内外での活動（14件）
(8) 広報活動、情報開示の推進	◆各工場での環境コミュニケーション活動の充実 ◆環境社会報告書の発行と情報開示	主な実施項目 ・自治区との懇談会を開催
(9) 従業員への教育、啓発活動	◆各種環境教育の実施と充実（新入社員、中途採用者、環境保全構成員、設計者、専門教育、内部監査員教育等）	◆全社的な教育に関する計画実施率 100%

新入社員教育

新入社員全員を対象に環境教育を行っています。

「私たちができること」という観点でグループワークを行い、環境意識を高めています。



講義のようす



グループでの発表

緊急訓練

環境重要設備を持つ部署では、天災や事故が発生した場合を想定した訓練を計画的に実施しています。



地震を想定した訓練



液漏れを想定した訓練